

# 言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (廿日市市立佐伯中学校)

- ① 教科等 外国語科
- ② 学年 第2学年
- ③ 単元名 Unit4 Homestay in the United States
- ④ 本時の目標
  - ア 読み手が理解しやすくなるように、ピア・フィードバックをもとに辞書を調べ、書き直すことができる。
  - イ 自分の学校生活について助動詞類を活用し、情報を付加して内容的にまとまりのある文章を4文以上で書くことができる。
- ⑤ 学習の流れ (10時間目/全11時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準 〔観点〕 (評価方法)
1 本時の目標の確認と復習 ○あいさつ ○日付, 本時の目標の口頭確認 2 既習事項の振り返り ○3min. 視写 視写プリントに正しく英文を書き写す。 その後, 自分が書いた英文を音読する。 3 つながりのある英文を書く ○家庭学習で書いた英文の内容を確認する。 ・ 掲示物の読み方 ・ 説明 ・ 自分とのかかわり <b>自己決定</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己評価カードへ次の内容を記入させる。(日付, 本時のめあて)</li> <li>・ CDのリズムに合わせて発音練習をさせる。</li> <li>・ 文と文のつながりを意識して, 時間内により多くの英文を正確に写させ, その後音読させる。</li> <li>・ モデル文を掲示し, 留意事項3点が書かれているか確認する。                          文のルール 1 点                          ① 主語+助動詞類+動詞の原形~                          文の豊かさ 2 点                          ② 3文以上                          ③ 必見情報 (本音や決意)</li> </ul>	<p><b>評価言</b> 「モデル文を見る回数が減ったね。意味のまとまりを覚えて書くことができているからだね。」</p> <p><b>評価言</b> 「主語+助動詞+動詞の原形の英文が書けているね。」</p>
○英作文を互いに読み, 記号とコメントを書き込む。 ・ We call this 'toban-hyo.' in Japanese. ・ Three groups have to do toban for the week. ・ I don't like toban. <b>共感的人間関係</b> ○ピア・フィードバックをもとに英作文を書き直す。 ・ 書き直しの視点を示す。 ・ 具体例を書く For example, my group has to set the table for the school lunch. ・ よさをアピールする We can help each other. ○英文を発表する。 <b>自己存在感</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 書き込みのアイコンを提示する。                          ◎⇒分かりやすい情報                          ?⇒相手への質問</li> <li>・ 相互に検討した内容をもとに, 英文の書き直しをさせる。</li> <li>・ 書き直しの視点を, ライティングノートにメモさせる。</li> <li>・ グループ内で参考になる英作文を1つ選び, 黒板に助動詞類を使ったキーセンテンスを書かせる。</li> <li>・ 次時のために, 発表させる。(班員で読み合わせをする)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 読み手が理解しやすくなるようにピア・フィードバックをもとに辞書を調べて書き直そうとしている。〔コミュニケーションへの関心・意欲・態度〕 (観察)</li> <li><b>評価言</b> 「?を書くことで, どんな情報が不足しているのかが書き手に伝わるね。」「◎が書かれていると書いた内容が伝わったという安心感が得られるよね。」</li> <li>・ 情報を付加し, 内容的にまとまりのある文章を4文以上書くことができる。〔外国語表現の能力〕 (ライティングノート)</li> <li><b>評価言</b> 「?マークに対して答える文を付加すると4文以上になるね。」「具体例を挙げると, 相手に伝わりやすくなるね。」「動詞を調べることができているね。」</li> </ul>
4 振り返り ○本時の振り返り ・ 次時の予告 (発表・インビュ) ・ 家庭学習の提示 ○あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己評価カードの振り返り欄へ次の内容を書かせる。                          We must study English,                          but _____                          単語, 符号に○をつけさせ, 正確に書けたかどうか確認させる。</li> </ul>	

「言語活動の充実」

## 設定した言語活動を通して育てたい力

- 日本とアメリカの学校生活の違いを踏まえたうえで, 自分の学校生活について助動詞を用いて, まとまりのある英文で表現することができる。

## 言語活動の充実のための指導の工夫

- 文と文のつながりを注意して英文を書くことを意識させるため, また視写用のモデル文を正しく書くため, 視写タイムを設定する。
- 書いた英文を相互にコメントし合うことをさせ, 意欲的に活動できるようペア・グループワークを適宜取り入れる。
- ピア・フィードバックが有効に行われるよう, 着目させる視点を明示し, 各自でチェックさせる。